

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程
〈正規学生(一般・推薦)〉
〈特別学生(社会人)〉
〈特別学生(外国人留学生)〉

心理学領域

試験科目
専門外国語科目

受験番号 番

解答記入不可
↑

問Ⅰ. あなたの卒業論文研究(あるいはそれに相当する研究)の概要を英語 200 words 程度で述べなさい。

問Ⅱ. 次の6つの論文の要約(Abstract)から3つを選び、それぞれの論文タイトルを日本語に訳した上で内容を解答用紙4行程度に日本語でまとめなさい。(論文は次頁にもあります)

論文のタイトルおよび要約(Abstract)については公表しない。

1)

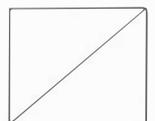
出典: Groyecka-Bernard, A. et al. (2024). *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 55, 368–385.

2)

出典: Matsushima, K., & Kato, T. (2024). *Occupational Therapy in Health Care*, 38, 666–685.

3)

出典: Kurt, O. et al. (2024). *Journal of Applied Behavior Analysis*, 57, 331–340.



2 枚中

1

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程 <正規学生(一般・推薦)> <特別学生(社会人)> <特別学生(外国人留学生)>	心理科学領域	試験科目 専門外国語科目	受験番号 番
--	--------	-----------------	-----------

解答記入不可
↑

4)

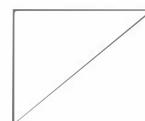
出典 : Hui, Q. et al. (2024). *International Journal of Psychology*, 59, 111-120.

5)

出典 : Lee, D., & Kang, S. (in press). *Perceptual and Motor Skills*.

6)

出典 : van Dis et al. (2024). *Journal of Behavior Therapy and Experimental Psychiatry*, 82, 101917.



2 枚中
2

文学研究科入学試験問題 (解答別紙)・直接解答)

博士課程前期課程

〈正規学生(一般)〉
 〈特別学生(社会人)〉
 〈特別学生(外国人留学生)〉

心理学領域

試験科目

専門基礎科目

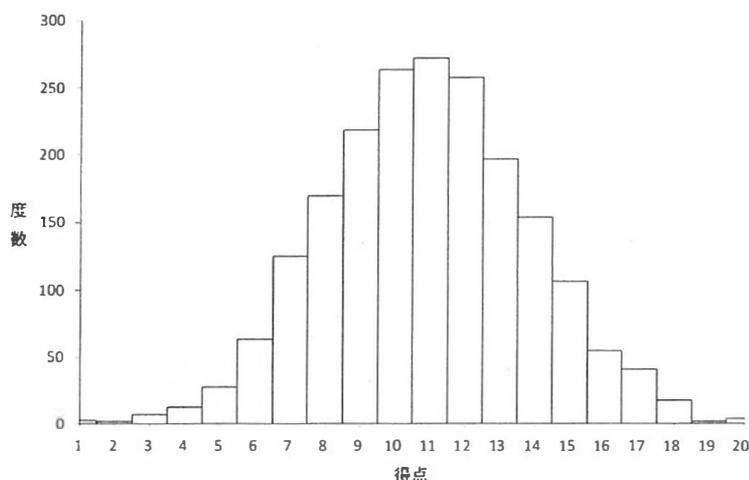
受験番号

番

解答記入不可

1

I. 次の図は、A 大学で試験 (全 20 問、各 1 点) を行って、その得点を図示したものである。これをふまえ、次の①～⑤の間に答えなさい。

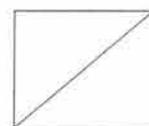


- ① この図を何とよぶか。
- ② この図の分布は、一般に何とよぶか。統計用語で答えよ。
- ③ 上記②の分布が成り立つとして、この図の山の頂きは何を表しているか。適切な「統計用語」をできるだけ多く挙げよ。
- ④ 上記②の分布が成り立つとして、試験得点の平均は 11、標準偏差は 3 であった。基準として下位 2.5% にあたる人を落第としたい。この基準にできるだけ近づけるならば、何点未満を落第とするか。その理由とともに示せ。なお、平均値から正負を問わず 1 標準偏差内にデータのある確率は約 68% である。
- ⑤ このデータを母集団として、ここから 5 名の標本を 10000 回抽出した。この全標本の平均値は、上の図の平均とくらべてどのような特徴を持ち、それはなぜか、簡潔に述べよ。

II. あなたの大学院での研究テーマを日本語で書き、それを英訳しなさい。

III. 心理学に関連する次の用語・人名から 10 語を選択し、簡潔かつ的確に説明しなさい。

- | | |
|----------------|-----------------------|
| a. 妥当性 | k. 神経発達症 (発達障害) |
| b. 実験者効果 | l. ストレス |
| c. ジェームズ・ランゲ説 | m. パーソナリティ日録法 |
| d. 大脳辺縁系 | n. CNV |
| e. プラトー (高原状態) | o. ABA |
| f. 視覚的断崖 | p. Hebb, D. O. |
| g. 主観的体制化 | q. Gibson, J. J. |
| h. 因果関係 | r. Penfield, W. G. |
| i. 社会的促進 | s. Cialdini, R. B. |
| j. 吸啜反射 | t. Meichenbaum, D. H. |



1 枚中

1

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程 〈正規学生(一般)〉	心理学領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
------------------------	-------	--------------	-----------

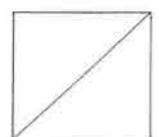
解答記入不可
↑

I. 神経科学の進展によって心理学がどのように影響を受けたかについて述べたうえで、心理学が独立した学問として存在し続けるための可能性と必要な条件について論じなさい。

II. 「公認心理師」受験資格の取得を目指す人はAを、それ以外の人はBについて解答しなさい。

A. 公認心理師として「生物・心理・社会モデル」を理解し実践するために、基礎心理学の知識とその応用力が必要とされる。そのために必要となる専門科目を少なくとも5つ挙げ、そこで学んだことを自身の研究と実習にどのように生かすのか述べなさい。

B. 反応時間を指標として調べることのできる心的過程の例を挙げ、その具体的な方法について説明した上で、限界点などについて議論しなさい。



1 枚中
1

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程 <正規学生(一般・推薦)> <特別学生(社会人)> <特別学生(外国人留学生)>	心理学領域	試験科目 専門外国語科目	受験番号 番
--	-------	-----------------	-----------

解答記入不可
↑

問Ⅰ. あなたの卒業論文研究 (あるいはそれに相当する研究) の概要を英語 200 words 程度で述べなさい。

問Ⅱ. 次の6つの論文の要約 (Abstract) から3つ選び、それぞれの論文タイトルを日本語に訳した上で、内容を解答用紙5行程度に日本語でまとめなさい。(論文は次頁にもあります)

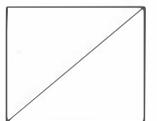
論文のタイトルおよび要約(Abstract)については公表しない。

1)

出典 : Landvreugd, A. et al. (2025). *Journal of Happiness Studies*, 26, 1–22.

2)

出典 : Fung, L., & Laing, R. (2024). *Discover Psychology*, 4, 201.



3 枚中

1

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程
 <正規学生(一般・推薦)>
 <特別学生(社会人)>
 <特別学生(外国人留学生)>

心理科学領域

試験科目
 専門外国語科目

受験番号 番

解答記入不可
 ↑

3)

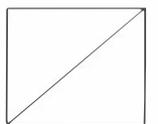
出典 : Ruedy, N. et al. (2013). *Journal of Personality and Social Psychology*, 105, 531–548.

4)

出典 : Ishiguro, C. (2024). *Japanese Psychological Research*, 66, 41–54.

5)

出典 : Kramer, R. S. S. et al. (2024). *Quarterly Journal of Experimental Psychology*, 77, 1978–1986.



3 枚中
 2

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程
〈正規学生(一般・推薦)〉
〈特別学生(社会人)〉
〈特別学生(外国人留学生)〉

心理科学領域

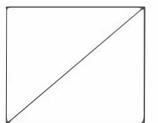
試験科目
専門外国語科目

受験番号 番

解答記入不可
↑

6)

出典 : Owen, A. et al. (2024). *Journal of Health Psychology*, 29, 275–288.



3 枚中
3

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程
 <正規学生(一般)>
 <特別学生(社会人)>
 <特別学生(外国人留学生)>

心理学領域

試験科目
 専門基礎科目

受験番号 番

解答記入不可
 ↑

I. 次の2つの問に答えなさい。

人とロボットの関係についてパーソナルスペースの観点で検討する実験を行った。正面から接近する対象を人間とする統制群と、ロボットとする実験群を設定し、接近する対象によって「これ以上近づいてほしくない距離」が変化するかを分析した。それぞれ1000名を実験参加者として被験者間実験計画で実験を行ったところ次のような結果を得た。統制群と実験群の平均値間には有意水準5%で有意な差がみられた ($t=2.07, df=1998, p<.05$)。

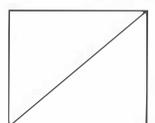
統制群：平均 65.6cm、標準偏差 14.29
 実験群：平均 64.3cm、標準偏差 15.16

- ① この t 検定の結果をどのように解釈すべきか、理由と共に述べよ。また追加の分析が必要であれば、それについても記せ。
- ② 本研究計画にはどのような問題があるか？それを解決するための実験計画を簡潔に示せ。

II. あなたの大学院での研究テーマを日本語で書き、それを英訳しなさい。

III. 心理学に関連する次の用語・人名から10語を選択し、簡潔かつ的確に説明しなさい。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| a. SD | k. 不安の階層 |
| b. アナログ研究 | l. 葛藤 |
| c. キャノン・バード説 | m. 類型論 |
| d. 中枢神経(系) | n. GSR |
| e. 行動分析(学) | o. S-R |
| f. ファイ(ϕ)現象 | p. Lorenz, K. Z. |
| g. 保持曲線 | q. Atkinson, R. C. |
| h. 拡散的思考 | r. Wernicke, C. |
| i. デマ | s. Kraepelin, E. |
| j. 自己中心性 | t. Maslow, A. H. |



1 枚中

1

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程前期課程 〈正規学生(一般)〉	心理学領域	試験科目 専門科目	受験番号 番
------------------------	-------	--------------	-----------

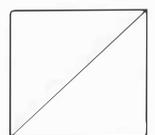
解答記入不可
↑

I. 「メタアナリシス (meta-analysis)」とは何かを説明し、その利点と限界について論じなさい。
また、心理学研究におけるメタアナリシスの代表的な例を挙げなさい。

II. 「公認心理師」受験資格の取得を目指す人はAを、それ以外の人はBについて解答しなさい。

A. 公認心理師は、科学者-実践家モデルの意義を理解し、常に自身の学術的研鑽を怠らぬよう努めると共に科学としての心理学の学術的發展に積極的に協力できることが求められる。このことについて学んだ専門科目を基礎心理学の科目を必ず1つ含めて5つ挙げ、その学びを踏まえて自分自身がこれからどのような観点や方法で研究力を伸ばしていくのか具体的に述べなさい。

B. 「知覚の恒常性 (perceptual constancy)」とは何かを説明し、視覚的な例を用いてその概念を具体的に示しなさい。また、知覚の恒常性が日常生活でどのように役立つのかを論じなさい。



— 1 — 枚中

1